

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) タカサキケイザイダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) モウリキヌエゼミ
高崎経済大学	経済学部	藻利衣恵ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) モウリゼミ A ハン	フリガナ) ハセガワマイ	8	無	
藻利ゼミ A 班	長谷川舞			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

なし

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

大学周辺の交通網の発達にむけて

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

本研究の目的は、高崎経済大学の発展に資するべく、本学で問題となっている大学周辺の交通網の改善案を検討することである。というのも、高崎経済大学周辺の交通状況は、学生だけでなく、教師や学外者にとっても、不便なものとなっている。例えば、バスや電車といった公共交通機関が発達しておらず、時間通りにこないことや、本数が少ないこと、その結果、定員オーバーにより乗れないことなどといった問題点が挙げられる。

そこで、私たちはこの現状を改善すべく、現在の市の取組みを調べ、よりよい学生生活を送れるよう、自らいくつかの提案を行い、その研究結果を発表する。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

高崎経済大学周辺には最寄り駅がなく、近年、高崎市から大学周辺に新駅の設立が提案された。しかし、新駅を利用して本学に通勤・通学しようとする、川を挟んでしまうため、本学から新駅までの距離は近くとも、実際には川沿いを迂回し徒歩 30 分

程かかってしまう。このような考えのもと、私たちは、本学発展のための交通網の改善にあたり、電車（新駅）ではなく、バスに着目した。より具体的には、学生目線で利用のしやすいバスを提案することで、本学学生の生活の質をあげ、公共交通機関を学生の使いやすいものにするという研究を行ってきた。

3. 研究テーマの課題

本研究のテーマは、高崎経済大学で問題となっている大学周辺の交通網がどうしたら改善するか、である。より具体的には、本学に公共交通機関で通学する学生たちにとって、電車の発着時間とバスの発着時間の関係や、バスの本数の少なさが問題となっているため、その改善案を提案する。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

その改善案は、以下 3 点である。

- ① 駅から通学・通勤する学生・教員が混雑する時間帯で乗り遅れる・乗れないことがないように、大学として高崎駅-高崎経済大学間のシャトルバスを設ける。
- ② 通学にあたり、バスの本数が夕方から減り、大学前発の最終便も都内に比べて早いため、学生が勉学に勤しめるよう、バスの深夜便を増設する。
- ③ 最近、高崎経済大学前のバス停で、バスベイ（バス専用の停留場所）の設置を行った。このバスベイの設置・増設を市内全体に拡張することで、高崎市全体の道路の渋滞を緩和を図ることが可能となる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

高崎市の地域交通課と都市計画課に、高崎市の交通に関して、①現在、高崎市の交通網についてどのような住民の声が届いているのか、②高崎市役所地域交通課の予算及び決算の内訳はどうなっているのか、③高崎経済大学前に新駅の設置は実現可能なのか、④今後の交通改善案はどうなっているのか等、ヒアリング調査を行った。

6. 結果や今後の取り組み

本研究では、高崎経済大学で問題となっている大学周辺の交通網がどうしたら改善するかを検討した。本研究の結論は、次の通りである。すなわち、①高崎駅-高崎経済大学間の大学シャトルバスの設置、②バスの深夜便の増設、③バスベイ（バス専用の停留場所）の設置を行えば、待ち時間短縮・車内の混雑の改善という市バスのデメリットを補完しつつ、深夜帯での交通手段が増え、その結果、大学周辺の交通網が改善し、大学自体も発展すると考えられる。

その一方、今回の研究では、私たちの提案が採用された場合に係る費用、近隣に与える影響や、その結果見込まれる利益などは検討しきれていない。そのため、今後は、高崎市の交通状況が類似している市の事例を基に、これらを検討していきたい。

7. 参考文献

- ・交通（市への意見と回答）|高崎市（2019.09.20 最終閲覧）
(<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2013120900752/>)
- ・交通事故統計（平成 30 年 3 月末）（2019.09.20 最終閲覧）
(<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000031693270&fileKind=2>)
- ・新施策で信越線新駅・子ども天文台/高浜は大プロジェクト（2019.09.20 最終閲覧）
(http://www.takasakiweb.jp/news_cat/6765/)
- ・高崎 統計季報 NO.228（2019.09.20 最終閲覧）
(<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2018092700072/files/kihou228.pdf>)
- ・都市鉄道の駅設置が周辺地域に与える影響に関する研究（2019.09.20 最終閲覧）
(<http://www3.grips.ac.jp/~up/pdf/paper2012/MJU12605kume.pdf>)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナル関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください